



## 鶺鴒地区ボランティアセンターと交流会を 10月30日(木)に深谷大上ふれあいの家で開催

藤沢市鶺鴒地区社会福祉協議会の一部門で、高齢者の自立への支援をする鶺鴒地区ボランティアセンター「ささえ」の中島和子センター長から、8月始めに綾瀬市社協を通して大上地区社協を訪問して交流会を持ちたい旨の申し入れがありました。そして10月30日(木)に鶺鴒地区社協の北島会長と中島センター長以下同センターの支援会員25名に市職員2名の28名が大型バスで来市され、セブンイレブン大上8丁目店の片居木オーナーの協力で駐車場を利用して頂き、深谷大上ふれあいの家で交流会が実現しました。

当日は午前10時に、大上地区社協の市ノ澤会長以下の12名が出迎え、綾瀬市社協の根本氏の司会で交流会が始まり、最初に市ノ澤会長の大上地区社協全体の活動状況を含めた挨拶、続いて先方の北島会長の挨拶と中島センター長の活動概要と共に訪問者の紹介を兼ねた挨拶、さらに綾瀬市社協の石橋班長から市社協の活動状況の説明を含めた挨拶があった後、岩月理事・企画部長による大上地区社協の活動状況、深谷大上ふれあいの家での「孤立しない・孤立させないための火曜喫茶店」事業についてパワーポイントを使っての説明と意見交換が行なわれた。質問のあった地域内への拡充・生活支援の仕方・後継者についても、しっかりとした考えのうえ実施されていることを理解されるなど、友好的な交流会でした。

藤沢市は人口41.9万人(綾瀬市8.3万人)で、鶺鴒地区社協の対象人口5.4万人(大上地区社協8.5千人)、同地区社協の下部組織の鶺鴒地区ボランティアセンター「ささえ」は会員制。会費は年額100円で、現在の会員は533名(大上地区社協会員226名)。内訳は重複ありで利用会員264名、支援会員224名、賛助会員115名。活動は主にふれあいタイム(語り合える場)、雀のお宿(麻雀、囲碁、将棋)や訪問支援(庭仕事、雨戸閉め、掃除、話し相手等)を行なっています。



挨拶する市ノ澤会長



岩月理事がパワーポイントで説明

## 北の台小学校PTAの「わいわいサークル」に協力

北の台小学校PTA(大塚洋二会長)は、子ども達と地域の皆さんとの交流の場となり、さらに明るく活気のある地域作りを目的として毎年秋に「わいわいサークル」を催していますが、今年も11月1日(土)に同校グラウンドで予定していたが、雨模様のために、前日、大上地区社協が設置した舞台は使用することなく、グラウンドの一部と体育館を会場として午前10時から行なわれた。

当日は、同校のPTAを始め、協力団体の大上自治会1区、青少年健全育成会、綾北消防分団等と共に大上地区社協も協力して、グラウンドでは餅つき、焼きそば、玉こんにゃく等の販売と消防車・救急車の展示。体育館では野菜、水あめ、フランクフルト、小物等の販売とおもちゃ遊び等で子ども達や保護者と地域の皆さん約700人が参加して秋のひと時を楽しんだ。大上地区社協は、風船に子ども達に思い思いの顔を描いて頂き、これを大きな竹に取り付け、沢山の顔が並び、仲良くなる様を表した「みんながなかよくなる木」と題する“造形遊び”で協力しました。一方、この風船を使っての遊びで館内は大賑わいになるなど、用意した300個の風船は「完売」となりました。



風船に思いを書く子ども達